

Oguchi Shakyo

2016
1
月号

おおぐち社協だより 年4回発行(4月・7月・10月・1月)第93号

ふれあいサロン、今年も盛り上げていきましょう!



大屋敷区「にこにこ」 10月7日 大屋敷学共 ●開催日:毎月第2・第4水曜日 9:30~11:30



河北区「陽だまり」 9月16日 仲沖集会場 移動型サロン



子育てサロン「まむ*まむ」 10月13日 ハロウィンパーティ

CONTENTS

- ★年頭のご挨拶
- ★社協会員加入 実績報告
- ★赤い羽根共同募金
- ★伝えたい、ともに生きる力
- ★大口子育て情報 ぎゅっと
- ★介護豆知識
- ★ふくしわくわくランド
- ★西尾張ブロックボランティアフェスティバル
- ★災害時炊き出し訓練
- ★オレンジカフェ・大口
- ★平成27年度 大口町表彰式ほか表彰のご紹介
- ★生活福祉資金貸付制度のご案内
- ★社協からのお知らせ

社会福祉法人

大口町社会福祉協議会

事務局

月~金(土日祝・年末年始休) 8:30~17:15
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階

ホームページ

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>

Eメール

chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp



社協会費は、大口町の地域福祉に役立てられます

社協会員加入 実績報告

平成27年度 大口町社会福祉協議会会員募集の結果をお知らせします

会費はどう使われる？
社協が行う地域福祉事業は、社協会員へご加入いただいた皆様の会費に支えられています。
会費は社協の自主財源として、大口町のまちづくり、地域に向けた公共性の高い福祉事業に使われます。
皆様から寄せいただいた会費は、社協を通して地域福祉事業にたちを変え、町民の皆様に還元されるしくみになっています。



会員加入…ご協力のお礼
平成27年度も、町内各世帯の皆様、法人・企業様に社協会員へご加入をいただき、誠にありがとうございました。
また、会員募集にあたり、各行政区長・役員の皆様には、多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

区分	年間会費(一口・円)	件数	口数	金額(円)
一般会員	500	4,795	4,795	2,397,500
賛助会員	1,000	90	141	141,000
法人会員	3,000	77	179	536,676
その他		38		7,774
合計				3,082,950

地区別加入状況(全世帯の約66%が加入)

地区名	件数	金額(円)
秋田	399	201,000
豊田	508	260,000
大屋敷	338	170,000
外坪	214	108,500
河北	397	201,000
余野	697	349,900
上小口	393	197,500
中小口	413	210,500
下小口	998	499,000
垣田	190	105,300
さつきヶ丘	247	123,500
合計	4,800	2,426,200

法人会員のご紹介

～町内の法人・企業様からも、社協はご支援いただいています～

- (福)愛生福祉会 御桜乃里
- 愛知北農業協同組合大口支店
- (株)青山製作所
- 岩田工機(株)
- (福)一期一会福祉会
- (株)一宮福祉サポート
- (株)インフォファーム
- (株)いずみ
- (医)医仁会 さくら総合病院
- (株)ACEショップいとう
- オークマ(株)
- オークマ労働組合
- 大口町商工会
- (株)大美軒
- (有)大森新聞店
- 兼房(株)
- 川村熱練工業(株)
- (有)木野鉄筋
- (株)木村屋
- (株)協栄製作所
- 熊沢建設(株)
- 光栄木材工業(株)
- (有)伊藤電気
- (株)サカイ
- 佐伯総合建設(株)尾張支店
- (株)酒井織布工場

- (株)酒井建築
- 三佳テック(株)
- (株)サンレック 名阪工場
- ダイセイ倉庫運輸(株)
- 鈴与興業(株)
- (有)寿々木工作所
- (有)鈴八
- (株)スター精機
- 鈴与ワークス(株)
- (財)タイム技研社会貢献委員会
- (有)宝製作所
- 田中産業(株)
- 中日コプロ(株)
- 中日保安設備(株)
- (株)東海木材相互市場大口市場
- (株)東海理化電気製作所
- 東海理化労働組合
- 東久(株)
- 東伸(株)
- (株)巴製作所
- トヨタ紡織(株)
- (株)日特製作所
- (有)ナガカ製作所
- (株)尾北福祉センター
- (社)尾北医師会
- 福玉精穀倉庫(株)

- 福玉ロジステックス(株)
- 福玉米粒麦(株)
- (有)藤原商店
- (株)前田グリーンサービスエンジニア
- (有)まさと電気
- 松岡建設(株)
- (有)まるさ運輸
- 丸周建設(株)
- 三井堂(株)
- (有)宮地モーターズ
- (株)村瀬組
- 名光急送(株)
- (学)名鉄学園 名鉄自動車専門学校
- ヤマザキマザック(株) 総務課
- (株)波多野工務店
- 明治商工(株)
- やまだクリニック
- (株)ゆたか堂
- 中川産業(株)
- 日金スチール(株)
- 宮地工業(株)
- (有)吉田設備
- 宮田機械店(株)
- みどりクリニック
- ユニー(株) アピタ大口店
- (※敬称略・順不同及び略式掲載)

新たな「支え合いのまちづくり」の時代

まちぐるみの支え合いに
社会福祉協議会の地域福祉推進を生かす



社会福祉法人大口町社会福祉協議会
会長 舟橋 宣成

年頭のご挨拶

平成28年の年頭にあたり、謹んで挨拶申し上げます。
旧年中は本会に対するご厚情に感謝するとともに、実施する諸事業に関し温かいご理解とご協力、ご参加を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、今日、日本では急速な少子高齢化が進み、医療、介護、年金、子育て等の社会保障制度を支える現役世代が減る一方、社会保障費用は年々増加すると予想されています。介護について言えば、このままでは介護保険制度がパンクしかねない状況です。
このため、政府は「社会保障と税の一体改革」に着手。消費税率の引上げによる増収分のうち、介護サービスにも財源が確保されましたが、その主な使い道は、市町村ごとにつくる「地域包括ケアシステム」というものです。

地域包括ケアシステムとは、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、地域の医療・介護を充実させるというものです。来たる大介護時代を前に、「人」所施設で支える「高齢者は介護度の重い人が中心となり、介護度の軽い人や介護予備軍の人たち

は「地域で支える」時代に突入しました。
そして、この時代の変化をとらえ、まちぐるみで支え合いの活動を始めていく市町村が、日本各地で次々と現れています。

これは、高齢者障がい者・母子等の分野別の縦割りではなく、誰かの困りごとを地域の課題としてとらえ、すべての住民が孤立することなく、ともに支え合い安心・安全な暮らしを守る「支え合いのまちづくり」の考え方が生かされています。

このまちづくりを進めるためには、地域の実情を知る住民や福祉関係者の皆様をはじめ、行政、NPO、社会福祉協議会等の団体や事業所等が「一体となり、その町や地域に合った支え合いの活動やサービスの仕組みづくりが必要となります」。

社会福祉協議会の地域福祉部門は、ボランティア活動や地域のふれあいサロン支援の経験を生かし、積極的に住民の皆様のお声を伺いながら、支え合いの仕組みづくりの調整役を担います。

また、在宅福祉部門は、「地域の介護事業所」としての経験を生かし、介護度の軽い人や介護予備軍の人たちを「地域で支える」ための介護サービスを計画していきます。

それらの取り組みと合わせ、認知症や障がいをもつ人のため

の日常生活自立支援事業(金銭管理を含む権利擁護や、生活困窮者世帯への資金貸付、災害時の支援活動等、地域で支え合いにも生きるための事業を継続していきます)。

社会福祉協議会は、社会福祉法人の中でも公共性が高く、特に地域福祉の推進について責務を負っている団体であり、今年はその真価が問われる1年となります。

法人運営においては、適正な財務処理と財務諸表を含む情報公開により、高い透明性を確保します。平成28年1月から始まったマイナンバー制度については、これまでの個人情報保護に加え、より一層の安全管理措置を実施します。

事業実施においては、地域福祉部門と在宅福祉部門の職員が一体となり、資質向上をはかりつつ、町民の皆様が必要とされる地域福祉の推進と支え合いのまちづくり、親しまれる介護サービスの提供に努めていく所存です。

結びにあたり、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人大口町社会福祉協議会
会長 舟橋 宣成



ヤマザキマザック株式会社 様

1919年に創業、大町に本社を置く世界大手の工作機械メーカー。国内・海外に多数の生産拠点(10か所)・サポート拠点(79か所)を持ち、工作機械メーカーの中で唯一グローバルな生産体制を確立。CNC旋盤、マシニングセンターから複合加工機、5軸加工機、レーザ加工機まで、幅広い製品レンジを展開しています。

町内企業の地域貢献活動『赤い羽根共同募金バトンリレー』
ヤマザキマザック株式会社様が実施

「赤い羽根共同募金バトンリレー」とは、大町町内の企業が、自社内で積極的に募金を集める活動を企業どうしのリレー形式で広めていくというものです。平成24年度に始まったこの活動は、地域に根差した企業が、地域に貢献する活動として認められ、町内の有力企業に毎年引き継がれています(※)。

晴天に恵まれた10月7日朝、総務課を中心に、労働組合とマザックボランティアクラブも加わり、総勢18名の従業員の皆様が大町リレーの活動に参加。募金活動は、事前に総務課から社内周知されており、ハッピー姿のぼり旗を掲げた気合十分の担当者様が、出勤する従業員の皆様に威勢よく募金を呼びかけました。

挨拶やかけ声が飛び交い、笑

「赤い羽根共同募金バトンリレー」とは、大町町内の企業が、自社内で積極的に募金を集める活動を企業どうしのリレー形式で広めていくというものです。平成24年度に始まったこの活動は、地域に根差した企業が、地域に貢献する活動として認められ、町内の有力企業に毎年引き継がれています(※)。

「赤い羽根共同募金バトンリレー」とは、大町町内の企業が、自社内で積極的に募金を集める活動を企業どうしのリレー形式で広めていくというものです。平成24年度に始まったこの活動は、地域に根差した企業が、地域に貢献する活動として認められ、町内の有力企業に毎年引き継がれています(※)。

同社では、①朝の募金活動、②チケット販売、③募金箱設置の3つを積極的に行った結果、例年の2倍以上となる総額154,216円の募金を大町町共同募金委員会へお寄せいただきました。

この募金は、大町町内のボランティア活動やふれあいサロン等の地域福祉によるまちづくり、愛知県内の福祉施設や車両の整備、災害準備金等に使われます。

日本が誇る技術力で世界のものづくりを支える同社は、地元のもちづくりを支える温かい企業でもあることが、今回の活動をおして伝わりました。

同社従業員の皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

「世界のヤマザキマザック」
地元の町も支える温かさ

また同社では、担当者のアイデアで、社内の喫茶店で使える100円の募金付きコーヒータケットを販売する企画も実施しました。チケット販売分の募金は、募金箱設置分と合わせて、107,543円にのびりました。



村松総務課長
「募金活動を通じて従業員の心温かな気持ちも感じられ、大変良い機会となりました。今後も様々な奉仕活動を通して地域貢献をしていきたいと思っております。」



(※)『赤い羽根共同募金バトンリレー』平成24年度 オークマ株式会社様 → 平成25年度 兼房株式会社様 → 平成26年度 リンナイ株式会社大町工場様 → 平成27年度 ヤマザキマザック株式会社様



じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金

★募金の約88%は大町町、12%は愛知県で使われます★

募金総額(中間実績報告) 3,169,723円

※平成27年12月2日現在 大町町共同募金委員会 中間実績

戸別募金(地区別)の部

地区名	金額(円)
秋田	208,400
豊田	255,000
大屋敷	176,500
外坪	107,500
河北	203,500
余野	267,400
上小口	203,300
中小口	203,400
下小口	575,500
垣田	84,600
さつきヶ丘	122,500
合計	2,407,600

職域・法人募金の部

区分	金額(円)
職域募金	596,975
法人募金	63,000
合計	676,296

街頭募金の部

区分	金額(円)
町民体育館	22,587
町内3店舗	40,307
ふれあいまつり	22,933
合計	85,827



民生委員児童委員協議会の皆様による街頭募金



ボーイスカウト大町第1団の皆様による街頭募金

赤い羽根共同募金にご協力いただいた皆様

- 町民の皆様
(秋田区、豊田區、大屋敷區、外坪區、河北區、余野區、上小口區、中小口區、下小口區、垣田區、さつきヶ丘區)、ヤマザキマザック(株)、リンナイ(株)、オークマ(株)、兼房(株)、東久(株)、(株)東海理化電機製作所、(株)青山製作所、トヨタ自動車(株)、ホンダロジコム(株)、キムラユニティー(株)、(学)名鉄自動車専門学校、名成電機(株)、JA愛知北大町支店、大町役場、大町商工会、大町郵便局、大町南郵便局、(社)尾北医師会、尾北看護専門学校、
- (福)一期一会福祉会 大町一期一会荘、(福)愛生福祉会 特別養護老人ホーム御桜乃里、ケアハウス御桜乃里、(福)おおぐち福祉会 ハートフル大町、アピタ大町店、ヨシヅヤ大町店、パロースーパーマーケット大町店、パローホームセンター大町店、(社)大町町コミュニティー・ワークセンター、大屋敷新田地区ふれあいサロン ippuku茶屋、NPO法人憩いの四季、喫茶ほほえみ、大町町民生委員児童委員協議会 ボーイスカウト大町第1団 大町町更生保護女性会 (※敬称略・順不同及び略式掲載)

第67回 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

愛知県共同募金会 銀賞受賞



大町中学校3年 稲波琴音さん



写真/
 ①夏休みボランティア出前講座「子ども防災教室」、クイズ形式で災害を考える(南児童センター)
 ②災害時に役立つ新聞紙スリッパの折り方を教わる(南児童センター)
 ③「夏休み親子福祉教室」で、障がいを持つ人が働く施設で説明を受ける(ハートフル大口)
 ④身体に障がいを持つ講師に、杖歩行をリクエスト(南小学校)
 ⑤盲導犬と一緒に歩く体験(南小学校)
 ⑥初めて点字を打つ(北小学校)
 ⑦習いたての手話に挑戦(北小学校)
 ⑧車いすユーザーの思いや体験談に耳を傾ける(西小学校)
 ⑨高齢者を疑似体験する装具をつけて歩く(西小学校)



現在、福祉実践教室(点字教室)のサポーターとして活躍いただけるボランティア募集中!
 問合せ先:社会福祉協議会 94-0060



伝えたい、ともに生きる力 いつか地域社会の担い手と なる君たちへ 〜福祉教育の現場から

子どももお年寄りも、障がいのある人もない人も、すべての人々がお互いを尊重し、ともに生きられる地域社会。住民自身の手でその地域をつくり出していくには、子どもの頃から生涯にわたる福祉教育が大切である、とされています。

子どもたちが、自分から自然に地域の人と支え合い、ともに生きる行動をとることができるようになるために、今、伝えていきたいことは。

学校教育で定着 体験と当事者からの学び

町内すべての小・中学校の授業で実施されている「福祉実践教室」をご存知ですか？

これは、平成3年から社会福祉協議会が学校とともに進めている取り組みで、長年、学校教育における福祉教育として定着しています。

教室の先生は、目や耳、身体に障がいをもつ当事者、障がいのある子どもを持つ親、ボランティア、手話、点字、車いす、盲導犬、高齢者疑似体験、

や、役立つ道具の使い方について、遊びの要素も取り入れながら子どもたちに教えます。

また、「夏休み親子福祉教室」では、子どもと大人が一緒に町内の福祉施設を見学。さまざまな困難のある人たちも、その人に合った支えや環境があれば、いきいきと生活できることを職員が伝えます。

こうした福祉教育を子どもの頃から繰り返し受けてきた人は、地域の一人として人の役に立ちたいという心が育まれ、支え合いとともに生きる地域社会をイメージしたり、地域活動に参加したりしやすくなると言われています。

全世代向けの学びを生かし、 支え合いのまちづくり

誰もが皆、年をとり病気や障がいを持って、災害が起きて被災したりして、地域の人の手を必要とする可能性があります。地域のつながりや支え合いが見直される中、福祉教育の役割が改めて問われています。

福祉教育は、将来の地域社会を担う子どもたちだけでなく、すべての住民が生涯にわたり地域で支え合い、ともに生きる力を育むためのもの。

社会福祉協議会は今後、全世代の地域住民の皆様に向けた学びの機会を提供しつつ、ともに支え合いのまちづくりを考え、進めていきます。

視覚障がい者ガイドヘルプ、知的障がい理解の授業をおおして、障がいをもつ人やお年寄りの特性と生活を支える方法を伝えます。

教室では、支える方法を体験するだけでなく、当事者の語る言葉や聞き、子どもたちが自分で気づき考える時間も大切にしています。当事者がどんな思いで生活しているか、周りの人ができることは何か…。障がいをもつこと、老いることへの正しい理解を深めながら、地域や学校で生きるさまざまな人の多様性を認め合い、支え合う心の芽を育てています。

遊びの場で、地域で、大人も 子どもも楽しみながら

福祉教育の場は、学校に限りません。社会福祉協議会では、夏休みに児童センターを利用して小学生の子どもたちを対象に、「夏休みボランティア出前講座」の環として「子ども防災教室」の活動を支援しています。地域のボランティアの大人たちが、災害時に自分の身を守り助け合う方法

子どもたちの声

- 耳の聞こえない人も、ぼくたちと同じように生活していることがわかりました。手話はすぐにたくさんできないけど、身ぶりや文字で言葉を伝えてみたいです。(南小3年)
- 盲導犬は、訓練を受けてさまざまなルールを守っていて、ひとりの人の命を支えるということはこんなに難しいことなんだなと思いました。(南小6年)
- 車いすに乗っている人がいると、「歩かなくていいな。」と思っていたけど、(自分が体験して)

- (施設のお年寄りとおふれあって)おじいちゃんとおばあちゃんに、ずっと元気でいてほしいと思いました。(北小2年)
- (福祉施設を見学して)車いすの人が困っているときに、わたしも助けることはできると思いました。自分でできるボランティアを試してみたいです。(西小3年)

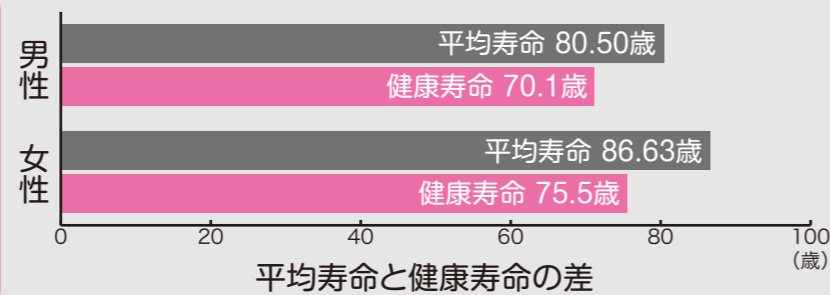




最近色々な所で「健康寿命」という言葉を耳にすることが多くなってきました。皆さんもよく知られています「平均寿命」は世界1位だということは周知されていると思いますが、最近よく聞く「健康寿命」も実は・・・世界1位なのです。我が国日本が世界で1位になっている「健康寿命」と「平均寿命」の違いを今回はお知らせします。

日本の平均寿命は過去最高を更新!!

平均寿命と健康寿命の開きは男女共にだいたい10歳くらいになっています。



「健康寿命とは...」

健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間のことです。健康寿命と平均寿命の間には、男性で約9年、女性で約13年の差があります。

誰もが最後まで、健康でいきいきとした生活を送りたいと思っています。

今、国でも平均寿命よりも健康寿命を伸ばすことを課題にあげていると言われています。

健康寿命が長い人と短い人の差は、過去の生活習慣の差、すなわち働き盛りの時代の過ごし方、食生活の差だとも言われています。

今、働き盛りの方はそんなに先のことをうまく想像できないかもしれませんが、健康寿命を縮める悪い習慣を見直すことによって、日々の生活の質もよくなって、健康寿命を縮めないようになるでしょう。



健康寿命を伸ばす合言葉は「テクテク・カミカミ・ニコニコ・ドキドキ」です。

テクテク

適度な運動

カミカミ

3度の規則正しい食事

ニコニコ

心の健康

ドキドキ

五感を使った感動

を指します。



今日からあなたも「テクテク・カミカミ・ニコニコ・ドキドキ」生活始めませんか?

次回はロコモティブシンドロームの予防と改善についてお知らせします。

●お問い合わせ先:大口町社会福祉協議会 ☎94-0060



【編集】特定非営利活動法人「まみーぽけっと」
【HP】
<http://www.geocities.jp/mammypocket2003/index.html>

寒くなると気をつけていても、子どもは病気になりがちですね。特に、身近に親族がいないママは子どもが病気になると一大事!働いていると子どもの預け先に苦労します。私も下で紹介しているつくしこどもクリニックの病児保育を何度か利用し助かりました。

大口町で孤軍奮闘しているママたち、まみーぽけっとは今年も応援しています!

病児病後児保育

病児・病後児保育とは、病気や病気の回復期である児童をお持ちの保護者の方が、勤務等で自宅で育児ができない場合に、その児童をお預かりする事業です。

※大口町および扶桑町が病児・病後児保育事業を委託しています。

- ☆対象者 大口町および扶桑町に在住する、生後3か月から小学校3年生までの、病気や病気の回復期である児童。
- ☆定員 2名
- ☆利用時間 月曜～金曜日 8:30～17:30
※土曜日・日曜日・祝日・その他実施医療機関の休診日は利用できません。
- ☆利用料金 500円/1時間、1日最大3,000円まで(消耗品利用は別途請求)
- ☆実施医療機関 つくしこどもクリニック
- ☆連絡先 0587-93-0600
予約専用電話 090-8556-7502(利用当日の7:45より予約可)
※予約方法・持ち物など詳しくは、実施医療機関にお問い合わせください。



福祉こども課《健康文化センター1F》 TEL(0587)94-1222

愛知県救急医療情報センター→24時間体制で、受診可能な医療機関の電話案内をおこなっています。

電話番号 0586-72-1133

愛知県救急医療情報システム→インターネットで受診可能な医療機関を検索できます。

HPアドレス <http://www.qq.pref.aichi.jp/>



お出かけスポット

岐阜県クリスタルパーク恵那

岐阜県恵那市武並町竹折970-1 0573-28-3390

きれいな施設です。冬は屋外スケートリンクでスケートが楽しめます。立地に恵まれているため、風の影響が少なく、あまり寒さを感じません。冬季以外はスケートリンクがインラインスケートやフットサル施設になります。壁打ちテニスやバスケットボールは通年楽しめます。食堂もあるのでゆっくり楽しめます♪

- ★スケート滑走料 (一般) 1,000円 (高校生) 800円 (小・中学生) 500円
- ★インラインスケート (一般) 400円 (高校生以下) 200円
- ★フットサルコート (半面) 500円/時間 (全面) 1,000円

西尾張ブロック ボランティアフェスティバル

11月29日(日)扶桑文化会館と扶桑町中央公民館において、西尾張ブロックボランティアフェスティバルがおこなわれました。

このフェスティバルは、西尾張ブロック14市町村が会場を持ち回り年1回開催しているもので、今年度は丹羽郡が会場。扶桑町・大口町のボランティアと社協が中心となって運営しました。

今年のテーマは「つなごう ぎずこう ボランティアの力」～あなたもわたしも～。このテーマ通り、ボランティアどうしが交流をほかり、地元の小学生がボランティアを体験するなど、ボランティアの輪を広げたフェスティバルでした。



誠信高校作成の看板。手作り感まんさい!



私たち扶桑町柏森小学校6年生は、オープニングで、平和を願う語り「HEIWAの鐘」を合唱したよ。そのあと、いろんなボランティア活動をスライドで、紹介したよ



教育界でとても活躍されている長岡先生が「ボランティアは参加と自己成長の時代です!」とボランティアのあり方をわかりやすくお話をしてくれました



見にくい、動きにくい...こんな体験は「高齢者疑似体験うさぎとかめ」さんのとこじゃなきゃできないよね



「ボランティアなでしこ」さんの、手作り小物は、可愛いものや、実用品もあって、また来たくりますよ

これは、蟹江町の自主防犯組織フクロウ隊さんの防犯日めくりカレンダーだよ



津島女性運転者友の会さんと、信号機グリーンピースというマスコットを作ったよ



簡易トイレ、新聞紙スリッパは、簡単に作れるって「災害救援ボランティア」さんが教えてくれたよ

編集後記 取材・作成/編集ボランティア OZ

時代と共に色々なものが変わっていきませんが、お正月に玄関先に飾るしめ縄、今ではしめ縄をつけた自動車を見かけることはほとんどありませんが、子供の頃我が家では玄関だけでなく自動車やなんと自転車にまで付けていました。最近スーパーで売られているしめ縄は輸入された物が多くなって、よく見てみたら使っている材料は藁ではないのですね。



ボランティア情報局

ふくしわくわくランド

昨年10月31日、11月1日に、ふれあいまつりが開催されました。一日目のふくしわくわくランドには、10団体のボランティアさんが参加しました。ボランティアさんの中には、親子で活動に参加するという、とても微笑ましい様子も見られました。毎年、お天気が気になりますが、今回は、寒くもなく何年かぶりに、良いお天気に恵まれました。



「要約筆記 スマイル大口」では、ぼくが描いたクジラをOHPで大きく映してもらったよ



「防災ボランティアD・サポート丹羽」での防災クイズを親子でチャレンジ!お母さん間違えてたよ

トヨタ紡織(株)大口工場の社員さんが、社会貢献活動で車いすを掃除中。そのボランティア活動するお父さんに娘さんが着いて来ました。父頑張る!



「大口町手話サークル」さんのところでは、ジェスチャーを見て絵カードを取るんだと、けっこう難しいんだよ。特にヨットはわからなかったなあ



「おもちゃ病院おぐち」では、ドクターがおもちゃを再手術して、欲しい人にゆずるコーナーもあったね。このおもちゃたちは幸せだね

ならんでも「スタンプラリー」に参加しなくちゃ!





回想法の体験とお茶会、どなたでも参加できます オレンジカフェ・大口

- 日時:毎月第3木曜日 13:30~15:00
- 場所:大口町生きがい活動支援センター
(大口町伝右一丁目47番地 ※表紙地図参照)
- 対象:介護や介護予防、回想法に興味のある方
ならどなたでも(おひとりでの参加、介護者
のみの参加も歓迎)
- 問合せ:社会福祉協議会 94-0060

平成27年4月から、月1回開催しているオレンジカフェ。専門職による介護相談のほか、介護予防・認知症予防に効果のある回想法を取り入れたレクリエーションが楽しめる、という特色があります。大口町歴史民俗資料館の全面的な協力により、昭和の道具や教科書等を実際に手に取り、懐かしのメロディを合唱したり、古い写真を見たりしながら、子ども時代や青春時代の懐かしい話を花を咲かせます。第5回の8月には、回想法普及の最先端で活躍する日本福祉大学の来島先生が参加され、「回想法がオレンジカフェで活用されている好事例」との評価をいただきました。どなた様も、ぜひ体験にお越しください。

赤い羽根共同募金配分金事業

重度身体障がい者 日帰り旅行

10月27日、重い身体障がいをお持ちの方と介護者の方、スタッフの総勢20名が、徳川園と名古屋港水族館へ出かけました。この日帰り旅行は、車いす用リフト付きバスを利用し、障がいをお持ちの方が安心して外出でき、介護者の方がリフレッシュする機会として、社協が年1回実施しているもの。参加者の方からは、「お昼がおいしかった」「これまで水族館に行ったことがなく、初めてイルカショーをみられてよかった」等のお声をいただきました。



大口絆つなぐネットと社協がふれあいまつりで 災害時炊き出し訓練

ひつまみ汁は、子どもからお年寄りまで「おいしい」と大好評。テントには長い行列ができ、配布開始から30分で予定の300名分が終了する事態になりました。そこで急遽、うまみたっぷりの残っただし汁をアレンジして、中華風スープとして紙コップで提供することに。このスープも約300名分を配布し、炊き出し訓練は終了しました。限られた時間と資源という条件のもと、急遽の判断が求められる災害時に柔軟な対応ができるよう、ボランティアと社協はこうした訓練を続けていきます。

災害義援金へのご協力ありがとうございました
炊き出しを召し上がった町民の皆様から、10,980円の災害義援金が集まりました



10月31日、ふれあいまつり2015の会場(中央公民館駐車場)、社協の「ふくしわくわくランド」の一角で、大口絆つなぐネットのボランティアと社協職員が合同で、炊き出し訓練を行いました。この活動は、突然災害が起きて炊き出しが必要となったとき、素早く対応できるように日頃から訓練を行っているもの。今回は、来場された町民の皆様が避難者という想定で、炊き出しを配布しました。メニューは、すいとんの入った岩手県の郷土料理「ひつまみ汁」。大口町社協は、岩手県遠野市社協と災害時相互応援協定を結んでおり、その縁で遠野市民から郷土料理の作り方を教わりました。地元の味を再現しようと、前日から社協ヘルパー職員が中心となって準備を行い、当日はボランティアも参加して、大鍋(はそり)を使って調理しました。

今も続けているぞ!復興支援ボランティア

平成23年、東日本大震災が発生。岩手県の沿岸被災地を支援するため、行政と社協は「大口絆つなぐネット」という名称の拠点組織を遠野市に置き、復興支援ボランティアの派遣を行いました。その後も、有志メンバーが毎年、被災地でボランティア活動を行っています。平成27年5月には、福島県南相馬市で、民家付近の竹林伐採等の活動を行いました。福島第一原発事故の影響により、避難指示等が出ている地域では、震災4年以上たっても帰還ができない住民の方々が多くあります。地震の直接の被害ではないものの、自宅に帰って片付けや庭の手入れをすることも制限されているため、複数のボランティアによる支援を必要としています。震災はまだ終わっていないのです。大口絆つなぐネットは、自分たちができる活動を続けています。





生活福祉資金貸付制度のご案内

～ 安定した生活を図るために～

ご存知ですか?社会福祉協議会では、他の資金の借り入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方がいらっしゃる世帯、失業等で日常生活全般に困難を抱えている世帯の方等にご利用いただく貸付制度を行っています。

総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯への生活資金

生活支援費	生活再建までの間に必要な生活費用
住宅入居費	敷金・礼金等賃貸契約を結ぶために必要な費用
一時生活再建費	生活を再建するために一時的に日常生活費を賄うことが困難である費用

教育支援金

教育支援金	学校教育法に規定する高校、大学または高等専門学校に就学するために必要な経費
就学支度金	教育支援金の貸付対象となる学校への入学に必要な経費

不動産担保型生活資金

一定の居住用不動産を有し、低所得で65歳以上の高齢者世帯の方への不動産を担保とした生活資金

※貸付を行うにあたっては返済していただく必要があることから、一定の条件を満たしている必要があります。また、貸付の種類によって条件等の違いがありますので、詳細は下記までお問い合わせください。

福祉資金

他の資金借り入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方がいらっしゃる世帯への生活資金

福祉資金	生業を営むために必要な経費
	技能習得に必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要な経費
	住宅の増改築、補修等及び公営住宅の譲り受けに必要な経費
	福祉用具等の購入に必要な経費
	障害者自動車の購入に必要な経費
	中国残留邦人等にかかる国民年金保険料の追納に必要な経費
	負傷又は疾病の療養に必要な経費及びその療養期間中の生計を維持するために必要な経費
	介護サービス、障がい者サービス等を受けるために必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要な経費
	災害を受けたことにより臨時に必要とする経費
	冠婚葬祭に必要な経費
	住居の移転等、給排水設備等の設置に必要な経費
就職、技能習得等の支度に必要な経費	
その他日常生活上一時的に必要な経費	

問合せ先 社会福祉協議会 電話 94-0060



認定特定非営利活動法人
レスキューストックヤード
代表理事 栗田 暢之 氏

3/5 大口町防災啓発事業 防災講演会

手話・要約筆記あり

大規模災害時、さまざまな人や組織はどのように連携し行動していくのか?!日本屈指の現場経験をもつ認定NPO法人代表の講演、必見です!

- 日 時 平成28年3月5日(土)午前10時～正午(予定)
- 会 場 大口町健康文化センター 4階 ほほえみホール
- 対象者 大口町在住または在勤の人
- 定 員 190名(会場満席数)
- 申込み 団体参加の場合は、電話またはファックス等で参加人数をご連絡ください。個人参加の場合は、事前連絡不要、直接会場へお越しください。

問合せ先 社会福祉協議会 電話 94-0060

講師略歴:1964年岐阜県生まれ。名古屋大学大学院環境学研究科修了。阪神・淡路大震災以降、現在までに35箇所を超える自然災害の現場で支援活動を展開している。またその現場での学びを生かし、地域防災力の向上や災害ボランティアの育成等に尽力している。東日本大震災支援全国ネットワーク代表世話人、愛知県被災者支援センター長を務めるほか、国・自治体の防災対策の検討委員会等多数受任、受賞歴多数。京都大学防災研究所、名古屋大学大学院等で非常勤講師も務める。

11/21 平成27年度 大口町表彰式

社会福祉や家庭介護等に尽くされている方を表彰

ほか表彰のご紹介



11月21日、大口町健康文化センター4階・ほほえみホールにおいて、「大口町表彰式」が行政と社会福祉協議会の共催で開催されました。社会福祉協議会からは、会長表彰として4名、会長感謝として1団体・1名に、ほづ賞を授与しました。

大口町表彰式

■町社会福祉協議会会長表彰

●福祉関係団体役員
(大口町遺族会会長5年以上)
福富 弘之 様

●家庭介護(5年以上)
山元 スミ子 様
服部 茂樹 様
藤田 尚男 様

■町社会福祉協議会会長感謝

●寄付
ボランティアなどでしこ様
●福祉関係団体役員
(大口町身体障害者福祉協会役員10年以上)
社本 尚武 様

第63回 愛知県社会福祉大会

■県知事感謝

●民生委員・児童委員
(10年～15年)
舟橋 宣成 様

■県社会福祉協議会会長表彰

●社会福祉施設・団体役員
(15年以上)
大森 邦代 様

■市区町村社会福祉協議会会長感謝

●市区町村社会福祉協議会役員
(5年以上)
長屋 孝成 様
三浦 京子 様

大口町身体障害者福祉協会が交通安全功勞 愛知県警・交通安全協会表彰

9月10日、身体障害者福祉協会が、愛知県警察本部長・愛知県交通安全協会会長表彰を受けられました。

これは、同団体の女性部会員が、交通安全を呼びかけるためのグッズを手作りし、町民へ配布する活動を長年続けた功績によるもの。

山田女性部代表は、「コツコツと続けてきた活動が評価され、やりがいにつながります。これからも頑張って続けていきたいです。」と話しています。



大口町在住の102歳 佐藤 ぎん様 遺族会員の長寿祝

満102歳を迎えられた遺族会員の佐藤様が、愛知県遺族連合会からご長寿のお祝いを受けられ、遺族会の宮地会長、恩田女性部長が訪問しました。

先の大戦で夫を失いながら、激動の時代を逞しく生き抜いてこられた佐藤様。これからもお元気で!



平成28年1月~3月分

心配ごと相談所開設日程

専門の相談員が対応し、秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。ご家族や福祉関係者からの相談も可能です。

●母子自立支援相談(第1水曜日)

経済問題、就労、進学、各種手続き等に関するひとり親家庭のための相談。女性の母子自立支援員が対応します。

●女性相談(第1・3水曜日)

家庭、離婚、人間関係、介護、子育て、DV等に関する女性のための相談。女性相談員が対応します。

内容 月	母子自立支援相談 女性相談 10:00~15:30	女性相談 10:00~15:30
1月	6日(水)	20日(水)
2月	3日(水)	17日(水)
3月	2日(水)	16日(水)

●高齢者・障がい者の弁護士相談(第4水曜日)

ご高齢の方、障がいをお持ちの方やそのご家族が安心して暮らしていくために、弁護士が身近な心配ごとの相談にのります。

内容 月	高齢者・障がい者の 弁護士相談 13:30~16:30
1月	27日(水)
2月	24日(水)
3月	23日(水)

※弁護士相談は完全予約制です

相談時間はおおむね30分間ですので、あらかじめ相談内容をまとめてきてください。

予約受付: 社会福祉協議会 電話 94-0060

ひとり親家庭お祝金贈呈事業



社会福祉協議会では、町内在住のひとり親家庭のお子さんの卒業と新たな門出を祝して、お祝金を贈呈します

- 対象者 大口町児童扶養手当を受給され、今春保育園、幼稚園、小学校、中学校等を卒業予定のお子さんがある世帯
- 内容 対象となるお子さん一名につき次のお祝金を贈呈します
保育園、幼稚園、小学校3千円、
中学校5千円
- 手続き 社会福祉協議会窓口において申請を受付します(代理可)
- 期間 平成28年3月7日(月)から3月18日(金)
(土、日、祝日は除く)
- 時間 午前8時30分から午後5時15分
(時間等都合がつかない場合相談可)
- 必要なもの
印鑑・母子家庭等医療費受給者証又は子ども医療費受給者証
ただし代理申請の場合は代理の方が本人確認できるもの(保険証等)

問合せ先 社会福祉協議会 電話 94-0060

善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。順不同(10月~12月1日取扱い分)

丹羽高等学校生徒会 様	15,232円
大口町老人クラブ連合会 様	13,000円
豊淑五会 様	44,600円
ボランティアなでしこ 様	10,000円
前田 新生 様 紙おむつ、匿名希望	お手玉



お祝い事や香典返しの一部等を寄付し、大口町の福祉のために役立ててみませんか?

ご寄付いただいた方には、ご要望に応じ、「善意だより」コーナーへの掲載、お礼状の印刷等をさせていただきます。

平成 年 月 日
社会福祉法人 大口町社会福祉協議会
会長 舟橋 宣成
謹言

(前略) このたび、御香典返しに替えて、大口町社会福祉協議会の福祉事業のためにご寄付を賜りました。
(中略) ここに略儀ながら書中をもちまして、御礼の御挨拶とさせていただきます。

平成 年 月 日 喪主 ○○言

香典返しのお礼状一例

謹啓 皆様益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
先般 ○○○○の葬儀に際しましては(中略)略儀ながら書中をもちまして御礼申し上げます。
なお、賜りました御芳志につきましては故人の遺志により勝手ながら大口町社会福祉協議会に寄付させていただきます。御礼にかえさせていただきますので、ご了承くださいませ。ようお願い申し上げます。